

国際福祉機器展

50年のあゆみ



一般財団法人

保健福祉広報協会

国際福祉機器展

50年のあゆみ



International Home Care & Rehabilitation Exhibition

一般財団法人

保健福祉広報協会



50年史発刊にあたって

一般財団法人 保健福祉広報協会
理事長

古都 賢一

国際福祉機器展&フォーラム（以下「H.C.R.」とします）は、1974年に開催された「社会福祉施設の近代化機器展」がその起源です。その後、多くの関係機関・団体、企業の皆様のご支援により、長年にわたり展示会を充実させ、開催してきました。そして、2023年には、50回目を記念する「H.C.R. 2023」を「クリエイティブな未来を拓く」をテーマとして東京ビッグサイト東展示ホールで開催し、約11万3千人に会場いただきました。同時に、2020年から始まったWeb展は、約200万ビューの閲覧を記録しました。H.C.R.2023は、まさに福祉機器、福祉・生活支援関連情報への新しいアクセスの形を切り拓く場となりました。

この半世紀、福祉機器の開発と普及は、事業者の方々の不断の実践と福祉制度・施策の充実発展によって画期的に進化しました。今や、福祉機器は、生活全般から社会環境づくりに至るまで多様な分野で活用され、機能の高度化も著しいものがあります。

これを促した制度が、1993年10月に施行された「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」です。同法で、国は「福祉用具の研究開発及び普及を促進するための措置に関する基本的な方針」を定めるものとされ、方針の中でH.C.R.の役割が次のように明記されています。

「例えば（中略）内外の製造事業者等が出展する国際保健福祉機器展に見られるように、多様な機会、場を利用して、福祉用具の利用の重要性について国民の認識を高めるための啓蒙活動を展開する」、とされています。

H.C.R.の試みは、こうした施策と相まって、時代とともに福祉機器のイメージを大きく変え、多様な産業分野からの企業参入と福祉機器市場の成長を促し、さらには福祉機器の国際化にも一定の役割を果たしてきたところです。

日本社会は、2040年に向けて少子化高齢化がさらに進み、人口減少が進んでいくといわれています。他方、介護や高齢者福祉のニーズは引き続き高まるものと見込まれています。また、障害者権利条約のもと、障害のある人々の地域での自立生活や就労、教育、社会参加の促進のための取り組みや環境改善が一層求められています。

H.C.R.は、社会環境の変化を見通しつつ、半世紀にわたり蓄積してきた礎をもとに、国内外の多種多様な福祉機器と情報の発信を担う展示会として、さらなる努力を重ねていく所存です。さらに、SDGsがめざす「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の理念に即し、地域共生社会の実現やすべての人が安心して暮らし、住み続けられるまちづくりをすすめることを働きかけるフォーラムの場として、さらに発展させてまいります。

本誌は、H.C.R.の50年間の軌跡をまとめたものです。これにより、皆様とともに来し方を振り返り、現在地を知って、未来を展望する一助になればと思っております。最後に、この場をお借りして、これまで長きにわたりH.C.R.に出展していただいた国内外の企業・団体の皆様、ならびにH.C.R.の企画運営にご尽力をいただきました関係団体・者の皆様、ご後援を頂いた関係機関の皆様のご理解とご協力に篤く御礼を申し上げます。これからも、引き続きのご支援を賜りますよう深甚よりお願い申し上げます。



50年史発刊にあたって 3

古都 賢一 一般財団法人 保健福祉広報協会 理事長

I H.C.R.のあゆみ 7

■ 第1回～第50回の開催概要

- 草創期 (第1回～第12回) 8
- 国際化 (第13回～第22回) 22
- 発展期 I (第23回～第27回) 38
- 発展期 II (第28回～第45回) 48
- 転換期 (第46回～第50回) 86

II H.C.R.50周年によせて 99

■ H.C.R.50周年記念レセプション ご挨拶より

- 村木 厚子 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 会長 100
- 武見 敬三 氏 厚生労働大臣 101
- メッテ・キルケゴール 氏 デンマーク高齢者担当大臣 102
- 松寿 庶 一般財団法人 保健福祉広報協会 顧問〔寄稿〕 103
- 伊東 弘泰 氏 アビリティーズ・ケアネット株式会社 会長兼社長〔寄稿〕 104

■ 50周年記念写真展 105

H.C.R.2023 第50回国際福祉機器展&フォーラム

国際福祉機器展H.C.R. ビジュアルデザイン 原画作家一覧 120



Ⅲ H.C.R.第41回～第50回 この10年の軌動	121
第41回 国際福祉機器展 H.C.R.2014 欧州の認知症対策と日本のオレンジプラン5か年計画の推進	122
第42回 国際福祉機器展 H.C.R.2015 ロボット新戦略打ち出される	128
第43回 国際福祉機器展 H.C.R.2016 地域共生社会の実現を重要施策として閣議決定!	133
第44回 国際福祉機器展 H.C.R.2017 コミュニケーション支援機器などのICT 機器開発の高まり	138
第45回 国際福祉機器展 H.C.R.2018 台湾、韓国、中国などアジアからの参加33社と増える	142
第46回 国際福祉機器展 H.C.R.2019 オリ・パラ準備のため西館・南館にて開催	147
(第47回) 福祉機器 Web2020 コロナ禍により実展示会中止、「福祉機器 Web2020」の開催に転換	153
第48回 国際福祉機器展 H.C.R.2021 コロナ禍、青梅展示棟での実展示会・Web展のハイブリッド開催	158
第49回 国際福祉機器展 H.C.R.2022 4年ぶりに東ホールでの実展示会とWeb展の併催	162
H.C.R.2023 第50回国際福祉機器展&フォーラム クリエイティブな未来を拓く 50周年記念開催	168

第1回～第40回の開催内容の詳細については「国際福祉機器展40年のあゆみ」(2014(平成26)年10月発行)をご参照ください。

Ⅳ 資料編	179
1. 国際福祉機器展H.C.R.のあゆみ	180
2. 主催、共催、後援、協賛団体の変遷	196
3. 感謝状贈呈企業・団体一覧	214
4. 理事・監事・評議員等一覧	222

※(注) 歴史的経緯を表すため、本文中には当時公的に使用されていた表現をそのまま用いた箇所があります。